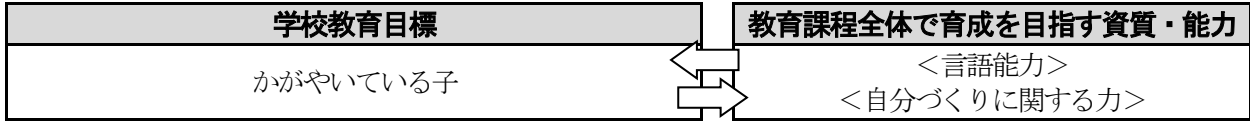


令和3年度 学力向上アクションプラン

横浜市立今井小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



(2) 中期取組目標

中期取組目標
◎子どもたち全員が、『自分大好き！今井大好き！』『自分ってなかなかやるじゃん！』と思えるように、子ども一人ひとりを大切にし、今井の地域に生きる子どもを育てます。
・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、問題解決を通して子どもの表現力を引き出し・伸ばしながら学力を向上させます。
・子ども一人ひとりが、自分の居場所や自尊感情がもてるよう、指導・承認・賞賛・励ましをタイムリーに行います。
・命の尊さを実感し、健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。
・「地域の行事」に意欲的に参加し、豊かな体験の中で「人」とのつながりを意識し『今井大好き！』な子どもを育てます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

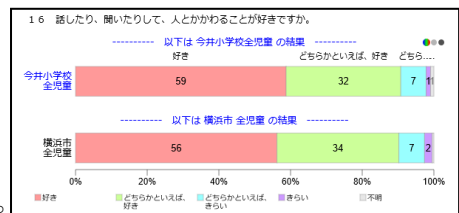
重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①子どもたちが学習課題を自分ごととしてとらえ、主体的に学習や学校生活に取り組むことができる授業を目指していく。そこで得た学び方や人間関係を他の教科に結び付け、子どもたちが確かな学力を身に付けられる授業を行う。②朝の帯取り時間では、各学級の実態に応じた時間にしていくことで、確かな学力を付けていく。
担当	重点推進委員会

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

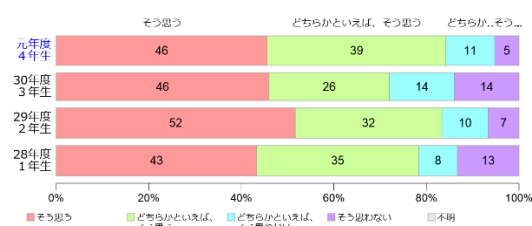
(1) 学力の概要と要因の分析

本校では、一昨年まで2年間は道徳科、昨年度は特別活動を重点研究に取り組んできた。道徳科を通して、自己を見つめ、見方・考え方を広げることで、学習へ向かう姿勢を育ててきた。研究を進める中で、今井小学校の児童の学習や、学校生活に主体的に学ぶ姿勢や友達の話聞いて、よりよくしていこうとする経験が少ないのではないかと課題が見えてきた。

令和元年度の学力状況調査の結果から、今井小学校の児童は人とのかかわりが好きな児童が多いことが分かった。かかわることが好きだが、あいさつを自分から進んでするという児童が少なかったり、物事に達成感を感じている児童が少なかったりすることが分かってきた。そこで、今年度は、特別活動を通して、自分たちの学習や学校生活に関することを主体的に話し合う力を昨年度に引き続き、身に付けていく必要があると考えている。自分たちで考えたり話し合ったことへの達成感をもつことで、さらに主体的や自己肯定感が生まれ、学習に意欲をもって取り組むことができると考えている。(令和2年度の学力状況調査は未実施)



(2) 同じ項目を経年変化で捉えた分析



現6年生の「自分にはいいところがあると思いますか。」という項目の経年変化では、中学年までは思うと答えた児童が高い水準で推移している。自分たちで主体的に話し合い、活動に達成感をもつことができる場面を多く味わうことで、さらに自信をもち、周りの事まで目を向けることができるのではないかと考えている。また、特別活動を軸とした学級経営を考えることで児童が安心できる学級を作るために研究を深めていきたい。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆主体性・積極性 ◆基本的な生活習慣をつくる態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな体験活動を設定することによって、自分の言葉で表現しようとする意欲を高める。 ○学習や生活の習慣を「今井っ子のやくそく」や特別活動、歯科ブラッシング指導などを通して知り、基本的な生活習慣をつくっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや願いを言葉で相手に伝えることができるようにする。 ○基本的な生活習慣を身につけ、守ろうとする意欲を高める。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◆感じたことを言葉にする力 ◆相手の思いを受け止めて聞く力 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな体験活動を設定することによって、自分の言葉で相手に伝え、表現しようとする意欲を高める。 ○学習や生活の習慣を「今井っ子のやくそく」や特別活動、歯科ブラッシング指導などを通して見直し基本的な生活習慣をつくっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が感じたことをよりよい言葉で相手に伝えようとする意欲を高める。 ○相手の言葉を受け止め、相手の気持ちを考えて行動できるようにする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分らしさを発揮しようとする姿勢 ◆地域を愛し、貢献しようとする姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の活動に関わる場を設定することによって、興味や疑問をもち、自分事として追究していくことができるようにする。 ○算数の少人数指導を効果的に行い、児童一人ひとりの表現する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時と場に応じた適切な言葉遣いについて知り、自分の思いを伝えることができるようにする。 ○算数の少人数指導を効果的に行い、児童一人ひとりの表現する力を伸ばす。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ◆感じたことを言葉にする力 ◆相手の思いを受け止めて聞く力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の考えの相違点や共通点に気付き、よりよい考えに高めていけるような話し合いをする。 ○算数の少人数指導を効果的に行い、児童一人ひとりの表現する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの目的を理解し、より良い考えにまとめていけるようにする。 ○算数の少人数指導を効果的に行い、児童一人ひとりの表現する力を伸ばす。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ◆よりよい社会を創る態度 ◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○どの教科等の学習でも、伝え合うことで自分の考えを深化させることができることに気付き、思いを伝え合いたいという意欲を高める。 ○社会の一員として地域の中で生活していることを実感できるような教材の工夫をしたり、必要感をもたせたりすることで、よりよい自分や社会を創っていくこととする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝え合うことを通して自分の考えを深化させ、よりよい考えにしていこうとする態度を育てる。 ○自分と地域との関わりについて見直し、よりよい自分や社会を創るために、自分ができることを考えることができる。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ◆言語で正確に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の中で様々な形で話し合いを行うことで、自分の考えをより深化させたり、多面的・多角的に物事をとらえたりする力を身に付ける。 ○社会の一員として地域の中で生活していることを実感できるような教材の工夫をしたり、必要感をもたせたりすることで、よりよい自分や社会を創っていくこととする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の中で様々な形で話し合いを行うことで、自分の考えをより深化させたり、多面的・多角的に物事をとらえたりする力を身に付ける。 ○社会の一員として自分にできることを考え、よりよい自分や社会を創るためにできることを考え、実践できるようにする。
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ◆主体性・積極性 ◆基本的な生活習慣をつくる態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な教材や指導場面を工夫し、必要感ややりがいをもたせることで、進んで物事に関わって行こうとする意欲を高める。 ○学習や生活の習慣を「今井っ子のやくそく」や特別活動、歯科ブラッシング指導などを通して知り、基本的な生活習慣をつくっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中で、学習したことが生かせるような場面を設定し、よりよく生活していこうとする態度を育てる。 ○基本的な生活習慣をしっかりと身につけ、定着するようにする。

[ここに入力]